

「流域計画・流域管理課題分野」(平成29年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
気候変化下における最大クラス洪水推定と水害リスク変容評価	金沢大学 谷口 健司	A
<p>＜研究概要＞</p> <p>数値気象モデルと温暖化予測結果を組み合わせたシミュレーションにより、気候変化下において発生し得る複数の大雨を推定し、それらに基づく流出解析と氾濫シミュレーションを実施し、将来における最大クラス洪水とそれに伴う浸水深等を推定する。また、それらを入力とした都市変容シミュレーションを実施し、気候変化下における水災害リスク等の変化に伴う都市構造の変化と、その際の水災害リスク変容評価を実施する</p>		
<p>＜事後評価指摘事項＞</p> <p>A評価のためなし</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった。
- B: 一定の研究成果があった。
- C: 研究成果があったとは言い難い。